

次期茅ヶ崎市文化生涯学習プラン策定に対する方針について

1 方針

茅ヶ崎市文化生涯学習プランは、茅ヶ崎市総合計画及び実施計画の改定時期を2年間延期する状況を踏まえ、今年度に予定していた次期プラン策定を当面の間、先送りいたします。

2 次期プラン策定延期及び令和3年度以降の推進についての考え方

(新型コロナウイルス感染まん延以前に描いていた「次期プラン」のテーマ)

茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員会での議論・市民アンケート・ワークショップを実施し、市民とともに策定へ向けた議論を約1年間にわたり進め、骨子づくりを行ってきた。

- 文化の地域性なども射程に入れ、まちづくりも意識したプラン（総合計画実施計画と連動し、旧南湖院第一病舎の改修や文化遺産の保全などの実施等）
- 総合的な文化生涯学習事業の体系化（各課・団体等で、個別に企画・実施している講座・イベント等の体系化）
- 寄附（文化振興基金）の積極的促進



(新型コロナウイルス感染まん延によって)

- 総合計画実施計画の策定作業が2年間延期。個別計画は延期または廃止。
歳入自体が大幅に減少する見込みのため、ハード事業の位置づけは困難となり、これまで実施してきた文化生涯学習事業自体も実施が難しい状況。
- 3密を避けるため、講座・イベントはこれまでのようなスタイルでの開催は困難。
オンラインを中心とした講座・イベントの展開が想定されるが、そのスタイルが社会的に中心となっていくかは、いまだ不確定な状況。
- 経済状況の悪化により、同分野への市民への積極的寄附促進を求められるか疑問。



- ・本プランは法定計画ではなく、文化生涯学習行政が担う範囲も定められていない。
- ・曖昧で抽象的な概念だからこそ、不確実な時代、不安定な時代には、「あれも、これも」になっ
てしまわないよう、「これだけはやる」という明確なポリシーを示す指針が必要。
- ・長期的な事業計画としてのプランは策定しないが、市民の思いを反映した、当面の間の
「文化生涯学習推進のあり方」は作成する必要がある。



(進め方)

- ① プラン策定は先送りし、令和3年度以降は、当面の間（令和5年度を目途）、現プランを延伸。次期プランの策定方針において、「現プランのコンセプトを継承すること」を謳っており、延伸すること自体に問題はない。
- ② 茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員会、現プランの最終評価（答申）を実施し、最終評価（答申）において現プランに基づく、当面の間の文化生涯学習の推進のあり方について答申⇒答申をもとにした文書を作成⇒文書をもとに事業を推進。
- ③ 令和4年度に、改めて次期プラン策定の必要性について検討